

第4章 地域編

1. 佐久地域

1-1 地域特性など

- 佐久地域は県の最東部にあり、北東側を群馬県、南側を山梨県と接し、首都圏からの県の玄関口と位置づけられています。埼玉県とも県境を接していますが、山岳部のため人の流動はありません。
- 北西側に接する上田地域との人の移動が多く、上田地域の北に位置する長野地域、南西側に接する諏訪地域との流動も、ある程度みられます。
- 小諸市中心部、佐久平駅周辺・岩村田、野沢・中込、臼田地区などに、商業施設、病院、高等学校が集中しています。
- 千曲川の上流に位置し、浅間山、八ヶ岳などの豊かな自然に恵まれた、わが国有数の高原リゾートエリアであり、多くの観光客が訪れています。

1-2 地域公共交通の概況

- 首都圏と北陸圏を結ぶ北陸新幹線が地域を横断しています。佐久地域には 軽井沢駅と佐久平駅があり、軽井沢駅から東京駅まで最短 60 分強で、首都圏とのアクセスが良好です。
- 新幹線の並行在来線として第三セクターのしなの鉄道が運行しており、軽井沢駅と篠ノ井駅を結んでいます。篠ノ井駅で JR 信越本線、JR 篠ノ井線に接続し、大半の列車が長野駅まで直通運行されています。
- 小諸駅と小淵沢駅を結ぶ JR 小海線が運行されており、小諸駅でしなの鉄道に、小淵沢駅で JR 中央本線にそれぞれ接続されています。
- 路線バスは、千曲バスの中仙道線（佐久方面）が地域で唯一の地域間幹線系統として運行されています。
- 市町村を跨ぐ路線は、事業者運営の路線バスが 4 路線、市町村運営のコミュニティバス路線が 3 路線運行されています。

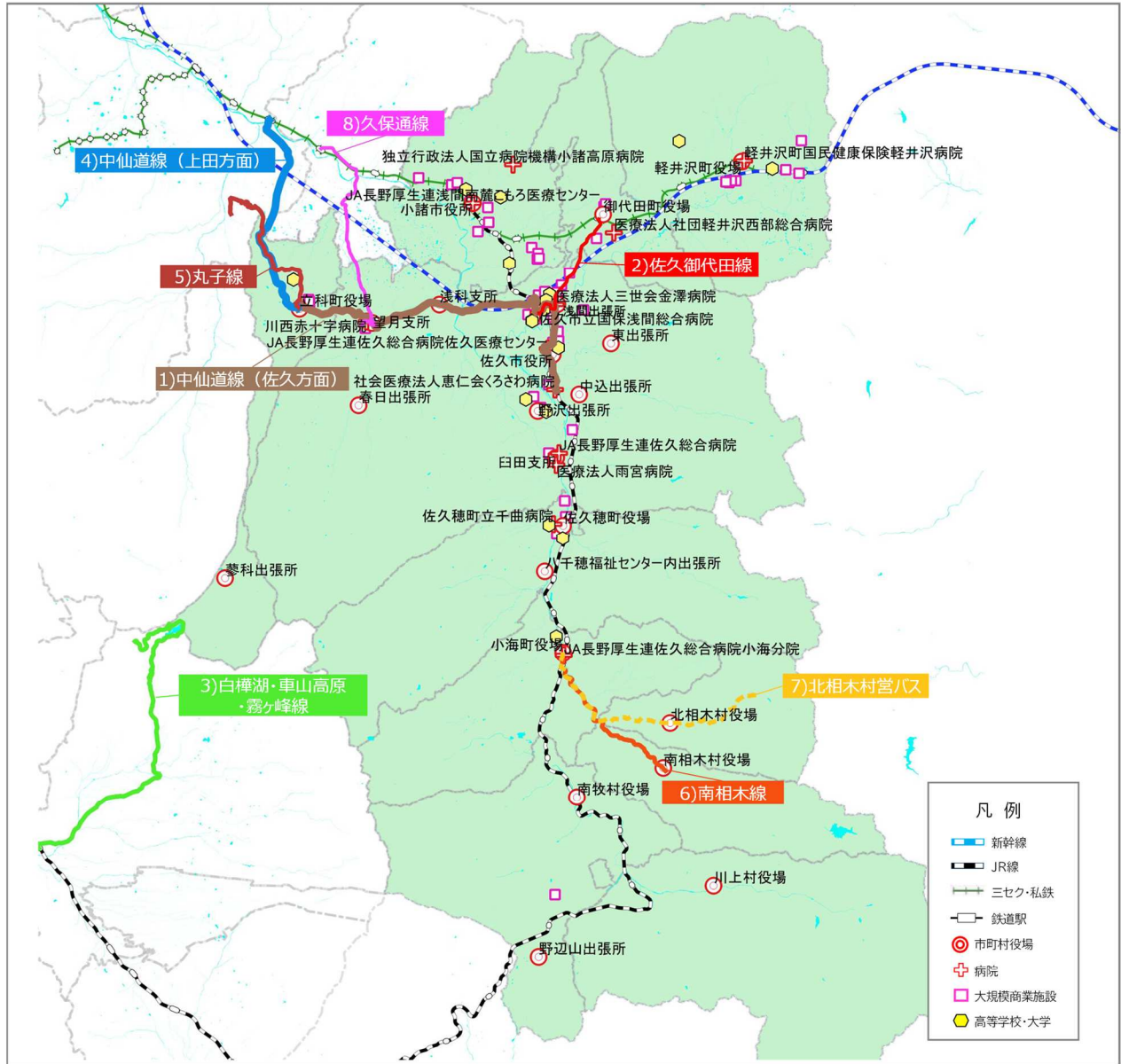
1-3 地域公共交通の課題

- しなの鉄道は、1 時間に 1、2 本程度の運行本数が確保されているものの、JR 小海線は、日中の運行便数が少なく、特に小海駅以南については、2 時間に 1 本となる時間帯もあります。また、小海線は輸送密度 2,000 人未満の路線として公表されており、小海線沿線地域活性化協議会で利用促進に取り組んでいます。
- 地域間幹線系統のバス路線は、佐久上田線が令和 3 年に廃止になっています。中仙道線は、かつては上田地域まで 1 本の路線でしたが、利用者の減少を受けて路線が分割され、立科町以東の区間だけが継続しており、これにより、路線の利便性が低下しています。
- 市町村を跨ぐコミュニティ路線のうち、佐久市の望月地区としなの鉄道の田中駅を結ぶ久保通線は、朝夕のみの運行で、日中の通院や買物などには対応できていません。
- 観光地への交通の便については、八ヶ岳山麓には公共交通でアクセスしにくい観光地が数多くあります。白樺高原は、茅野駅からは直通のバス路線（白樺湖・車山高原線）があるものの、佐久方面からは立科町でコミュニティバスへ乗換える必要があります。

市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

令和5年10月1日現在
 (データの年次は令和4年度のものを。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和6年度申請のもの)

No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線距離 (km)	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	千曲バス	中仙道線 (佐久方面)	21.5	4.5	25,173	8.5%	9,071
2	事業者路線 (その他一般路線)	千曲バス	佐久御代田線	7.8	1.0	5,393	13.2%	
3		アルピコ交通	白樺湖・車山高原線 (定期観光便)	26.4	2.7	22,150	51.2%	
3			白樺湖・車山高原線 (通勤通学便)	26.2	1.3			
4		東信観光バス		中仙道線 (上田方面)	13.4	8.8		
5	丸子線			12.7	4.7			
6	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	南相木村(直営)	南相木線	10.8	10.0	33,195	0.5%	
7		北相木村(直営)	北相木村営バス	16.6	10.8	4,041	19.2%	
8		東信観光バス	久保通線	14.8	4.0			



1-4 地域公共交通の将来ネットワーク

A【三大都市圏連携軸】

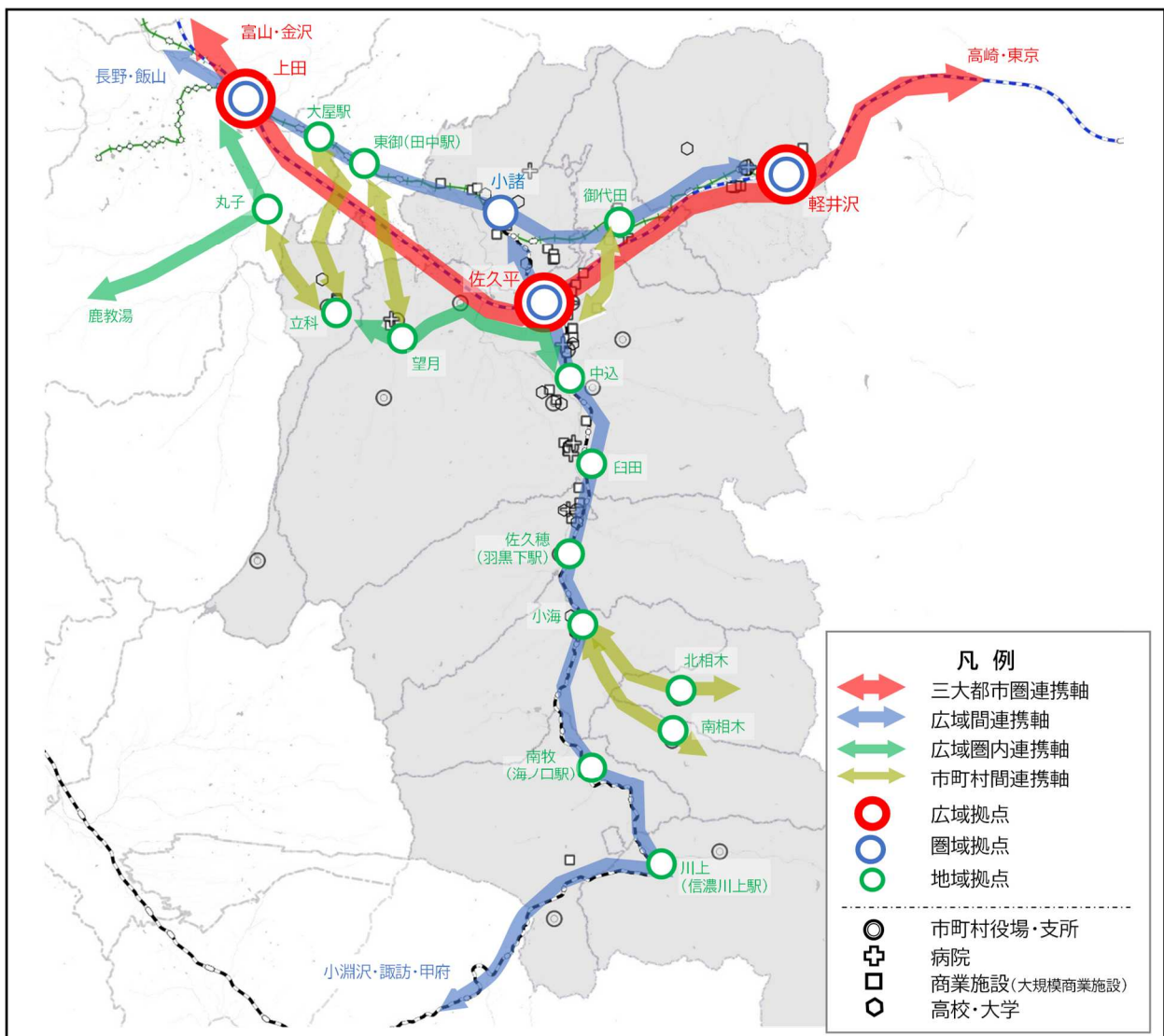
首都圏と北陸圏を結ぶ北陸新幹線を三大都市圏連携軸として位置づけます。北陸新幹線は2024年に福井県敦賀市まで、将来的には近畿圏まで延伸する予定です。

軽井沢駅と佐久平駅の新幹線駅周辺を広域拠点と位置づけ、首都圏との良好なアクセスを活かした拠点づくりについて、具体的な方策を検討していきます。

B【広域間連携軸】

地域住民の日常生活の移動を支える路線として、東西に走るしなの鉄道と南北に走る JR 小海線を広域間連携軸に位置づけます。

しなの鉄道と JR 小海線の維持を図るため、沿線市町村とも連携し、各路線の活性化、利用促進に取り組んでいくものとします。



C【広域圏内連携軸】

中仙道線（佐久方面）を広域圏内連携軸に位置づけます。今後も、国・県の地域間幹線系統補助を活用し、維持を図ります。

D【市町村間連携軸】

佐久・上田地域を結ぶ中仙道線（上田方面）、佐久御代田線、丸子線、久保通線 の4路線を市町村間連携軸に位置づけます。立科町役場は、中仙道線（上田方面）、丸子線と圏域内連携軸である中仙道線（佐久方面）との結節点です。

佐久地域南部では、南相木村、北相木村から小海駅までを結ぶ村営バスを市町村間連携軸に位置づけます。小海駅が結節点です。

拠点と軸の設定

区分	名称	位置づけ	具体的な路線・拠点	
拠点	広域拠点	・三大都市圏などと接続する県の玄関口	佐久市	・佐久平(佐久平駅・岩村駅周辺)
			軽井沢町	・軽井沢(駅周辺)
	圏域拠点	・圏域の中心地	小諸市	・小諸(駅・市役所周辺)
			佐久市	・佐久平(佐久平駅・岩村駅周辺)
			軽井沢町	・軽井沢(駅周辺)
	地域拠点	・各市町村内における交通結節点、目的先施設	佐久市	・中込(駅周辺) ・臼田(駅周辺) ・望月(望月支所周辺)
			小海町	・小海(駅・町役場周辺)
			川上村	・川上(信濃川上駅周辺)
			南牧村	・南牧(佐久海ノ口駅・村役場周辺)
			南相木村	・南相木(村役場周辺)
			北相木村	・北相木(村役場周辺)
			佐久穂町	・佐久穂 (羽黒下駅・町役場周辺)
御代田町			・御代田(駅・町役場周辺)	
立科町			・立科(町役場周辺)	
軸	三大都市圏連携軸	・三大都市圏と県内を結ぶ軸	鉄道	・北陸新幹線[JR東日本]
	広域間連携軸	・隣接県や県内の圏域拠点間を結ぶ軸	鉄道	・しなの鉄道[しなの鉄道] ・小海線[JR東日本]
	広域圏内連携軸	・圏域拠点と地域拠点を市町村をまたいで結ぶ軸	バス	・中仙道線(佐久方面)★[千曲バス]
	市町村間連携軸	・地域拠点と地域拠点を市町村をまたいで結ぶ軸	バス	・佐久御代田線[千曲バス] ・丸子線[東信観光バス] ・中仙道線(上田方面)[東信観光バス] ・久保通線[東信観光バス] ・南相木村営バス[村直営] ・北相木村営バス[村直営]

★ = 国・県の地域間幹線系統補助対象路線

☆ = 国・県の地域間幹線系統補助の対象となる可能性がある路線